



# 2023年12月期通期 決算説明資料

— 2023年1月～12月 —

# 目次

1. 2023年12月期通期決算概況
2. 中期経営計画の進捗状況
3. 中期経営計画におけるKPIの変更と2024年度の業績予想、施策
4. 参考データ
5. 2023年度下期主要ニュース



# TOPICS

- ✓ 2023年12月期は増収増益。  
国内ITにおいては連結除外の影響や、中期経営計画に基づく投資等で減収減益となったが、インド子会社の好調な推移や為替の影響等により海外ITは増収増益
- ✓ 業績予想に対しては、ほぼオントラックで着地
- ✓ 注力しているプロダクト&サービス事業については、2025年度売上目標50億円を前倒しで達成
- ✓ 次期中期経営計画に向けてキャッシュ創出力をより重視するためKPIを変更
- ✓ 2024年12月期は、投資を継続的に実施すると同時に既存事業の収益力向上を狙う。  
また、次期中期経営計画の準備を進める



1

# 2023年12月期通期 決算概況



# 連結業績概況 前年度比

	2022年度	2023年度	前年度比	
			増減額	%
(単位:百万円)				
売上高	47,971	<b>50,539</b>	+2,567	+5.4%
売上総利益	11,601	<b>12,285</b>	+683	+5.9%
(対売上比)	24.2%	<b>24.3%</b>	+0.1pt	
販管費	8,414	<b>8,958</b>	+544	+6.5%
営業利益	3,187	<b>3,327</b>	+139	+4.4%
(対売上比)	6.6%	<b>6.6%</b>	-0.1pt	
経常利益	3,158	<b>3,118</b>	▲40	▲1.3%
(対売上比)	6.6%	<b>6.2%</b>	-0.4pt	
特別利益	1,009	<b>1,631</b>	+621	+61.6%
特別損失	561	<b>768</b>	+206	+36.8%
特別損益(計)	447	<b>863</b>	+415	+92.7%
当期純利益 <sup>※1</sup>	2,093	<b>2,473</b>	+379	+18.1%
(対売上比)	4.4%	<b>4.9%</b>	+0.5pt	
受注高	49,512	<b>54,650</b>	+5,137	+10.4%
受注残高	13,272	<b>16,839</b>	+3,567	+26.9%

※1 親会社株主に帰属する当期純利益

## PL概況

- 国内ITにて連結除外の影響があったものの、インド子会社の大型案件や為替の影響等により増収
- 成長投資をはじめとした販管費の増加等があったものの、海外ITの増益により営業利益は増加
- 成長投資見合い分の保有有価証券を売却、特別利益に計上したこと等から当期純利益は増加

## 受注高・受注残高概況

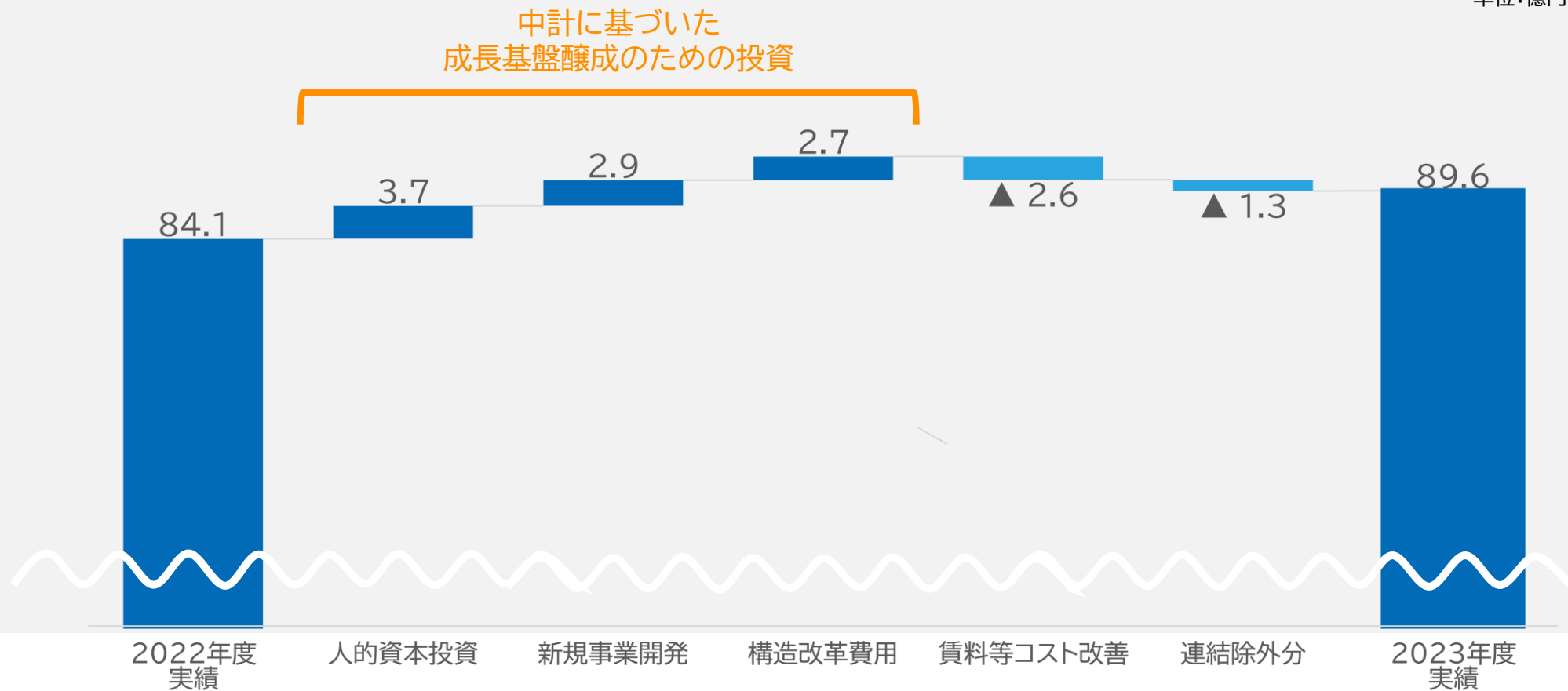
- インド子会社の受注増などにより受注高は大幅増
- 受注残高は国内IT、海外ITともに増加



# 販売管理費分析

- 経費削減策を徹底した一方で、成長基盤醸成のための投資(人的資本投資・新規事業開発への投資等)を積極的に実施

単位:億円





# 業績予想・KPI予想との比較

(単位:百万円)

	期初予想	2023年度 通期実績	達成率(%)
売上高	50,000	50,539	101.1%
営業利益	3,300	3,327	100.8%
経常利益	3,200	3,118	97.4%
当期純利益 <sup>※1</sup>	2,200	2,473	112.4%
ROE	7.6%	8.2%	
エクイティスプレッド	0.0%	1.2%	
DOE(%)	5%水準	4.6%	
年間配当	80円	80円	

※1 親会社株主に帰属する当期純利益

## 業績予想比

- 売上高、営業利益、当期純利益につき、期初の業績予想を達成

## KPI

- 当期純利益が想定より増加したことから、ROE、エクイティスプレッドは期初予想を上回る
- DOEは期初の想定通り5%水準の見込み





# セグメント別売上高・利益

## 売上高

詳細はセグメント別概況をご参照ください

(単位:百万円)	2022年度		2023年度		前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
国内IT	36,406	75.9%	<b>35,905</b>	<b>71.0%</b>	▲501	▲1.4%
海外IT	11,565	24.1%	<b>14,633</b>	<b>29.0%</b>	+3,068	+26.5%
合計	47,971	100.0%	<b>50,539</b>	<b>100.0%</b>	+2,567	+5.4%

## セグメント利益

(単位:百万円)	2022年度		2023年度		前年度比	
	金額	利益率	金額	利益率	金額	増減率
国内IT	3,668	10.1%	<b>3,468</b>	<b>9.7%</b>	▲199	▲5.5%
海外IT	1,089	9.4%	<b>1,420</b>	<b>9.7%</b>	+331	+30.4%
調整	▲1,569	—	<b>▲1,561</b>	—	+8	—
合計	3,187	6.6%	<b>3,327</b>	<b>6.6%</b>	+139	+4.4%

※ 2023年度よりセグメント利益の算出方法を変更しており、各セグメントに配分していない全社費用を調整額として表示しています。なお、前年度の数値についても同様に変更して表示しています。







# セグメント別受注高・受注残高

## 受注高

詳細はセグメント別概況をご参照ください

(単位:百万円)	2022年度		2023年度		前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	%
国内IT	37,540	75.8%	<b>37,532</b>	<b>68.7%</b>	▲8	▲0.0%
海外IT	11,971	24.2%	<b>17,117</b>	<b>31.3%</b>	+5,146	+43.0%
合計	49,512	100.0%	<b>54,650</b>	<b>100.0%</b>	+5,137	+10.4%

## 受注残高

(単位:百万円)	2022年度		2023年度		前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	%
国内IT	9,435	71.1%	<b>10,519</b>	<b>62.5%</b>	+1,083	+11.5%
海外IT	3,836	28.9%	<b>6,319</b>	<b>37.5%</b>	+2,483	+64.7%
合計	13,272	100.0%	<b>16,839</b>	<b>100.0%</b>	+3,567	+26.9%

# セグメント別概況：国内IT事業概況

(単位:百万円)	2022年度	2023年度	前年度比	
受注高	37,540	<b>37,532</b>	▲8	▲0.0%
売上高	36,406	<b>35,905</b>	▲501	▲1.4%
セグメント利益	3,668	<b>3,468</b>	▲199	▲5.5%
利益率	10.1%	<b>9.7%</b>	—	▲0.4pt
受注残高	9,435	<b>10,519</b>	+1,083	+11.5%

※ 2023年度よりセグメント利益の算出方法を変更しており、各セグメントに配分していない全社費用を調整額として表示しています。なお、前年度の数値についても同様に変更して表示しています。

## 概況

- 連結除外の影響があったものの、金融・サービス業向けなどが伸びたことで、受注高は前年度とほぼ同額で着地
- 売上高は連結除外の影響により減少
- 連結除外に加え、成長に向けた投資を継続したこと等からセグメント利益も減少
- 受注残高は中核子会社を中心に大幅増



# セグメント別概況:海外IT事業概況

(単位:百万円)	2022年度	2023年度	前年度比	
受注高	11,971	<b>17,117</b>	+5,146	+43.0%
売上高	11,565	<b>14,633</b>	+3,068	+26.5%
セグメント利益	1,089	<b>1,420</b>	+331	+30.4%
利益率	9.4%	<b>9.7%</b>	—	+0.3pt
受注残高	3,836	<b>6,319</b>	+2,483	+64.7%

※ 2023年度よりセグメント利益の算出方法を変更しており、各セグメントに配分していない全社費用を調整額として表示しています。なお、前年度の数値についても同様に変更して表示しています。

## 概況

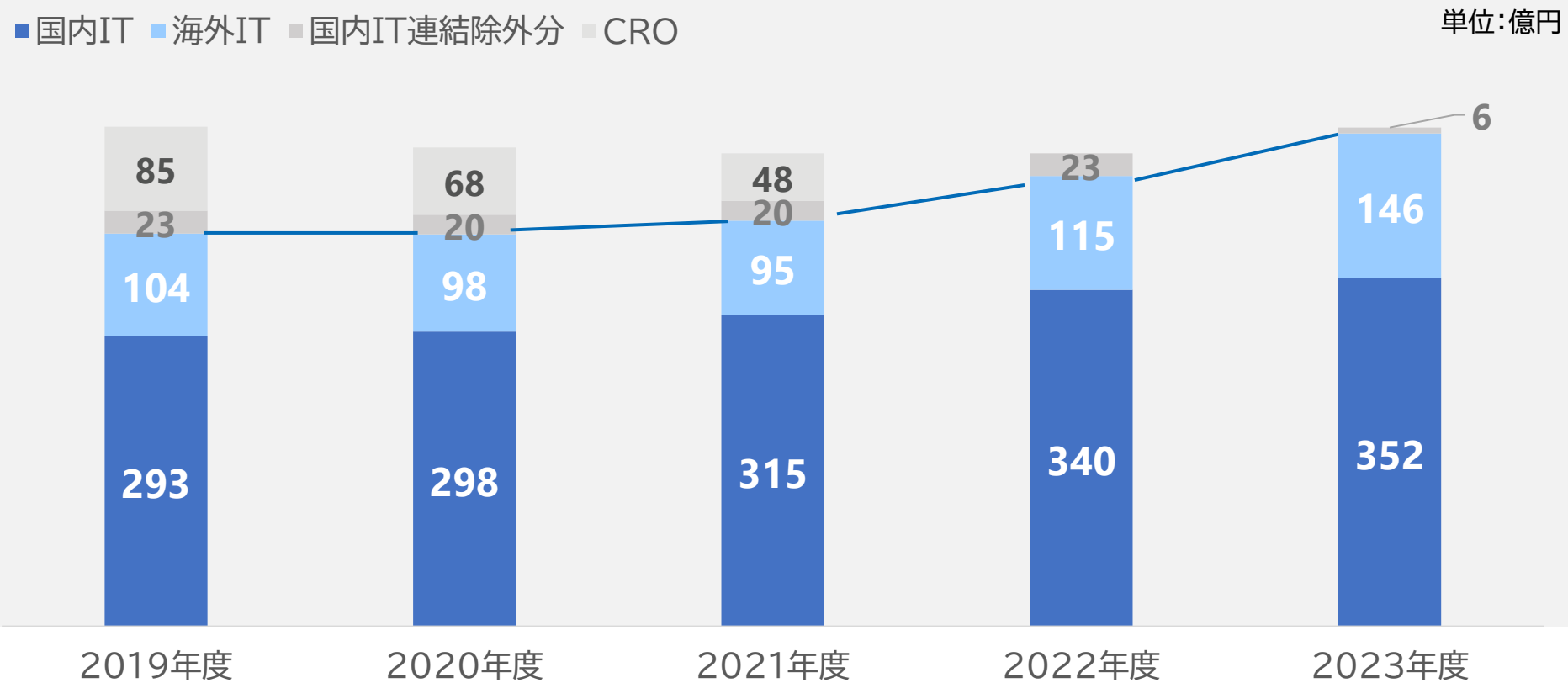
- 受注高はインド子会社での金融向け大型案件に加え、情報・通信向けが伸長したことから大幅増
- 売上高は金融向け大型案件が計上されたことや為替の影響等により増加
- 増収の影響や、インド子会社の構造改革(不採算拠点の整理)の進捗により利益改善
- 受注残高はインド子会社・インドネシア子会社中心に大幅増



# 5年推移 セグメント別売上高

- 国内ITと海外ITの売上高は堅調に推移しており、  
2019年度から2023年度までの5年間の平均成長率(CAGR)<sup>※</sup>は5.8%

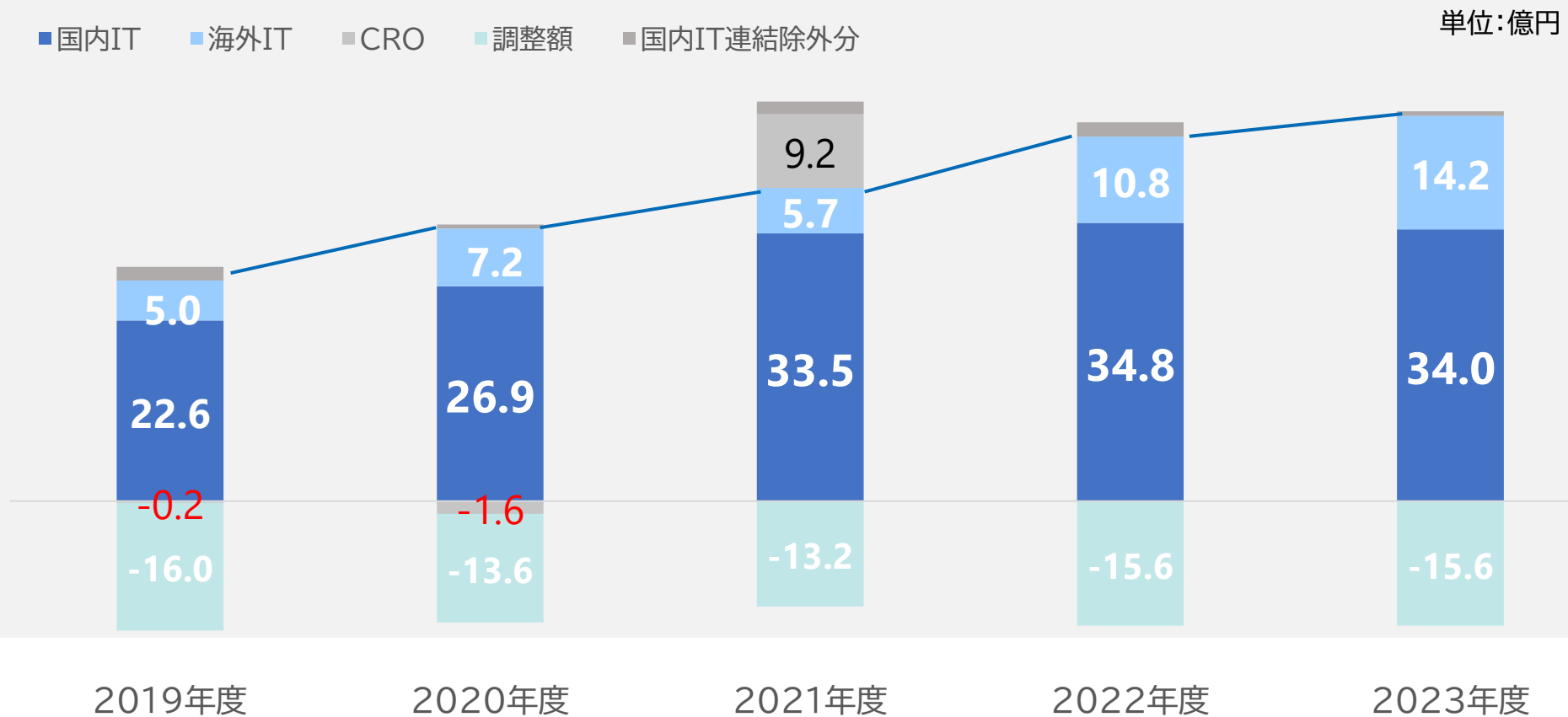
※ 国内IT、海外ITの継続事業を対象とした平均成長率(CAGR)





# 5年推移 セグメント利益

- 海外ITの利益が堅調に増加
- 連結除外の影響をのぞくと、堅調に推移





2

## 中期経営計画の進捗状況



## テクノロジーとアイデアで、 社会にポジティブなインパクトを与え続ける企業グループへ

自らの仕事にプライドと責任を持ち、私たちは挑みます。

前例や先入観に囚われず、最先端の技術と独創的なアイデアを組み合わせ、  
社会課題を解決していく。

ポジティブなインパクトを与え続けることで、  
きっと社会は豊かになる。

私たちが変えていく、共感者とともに。

### さあ、仕掛けよう。

Let's make an **i**mpact.



# ビジョン達成のための中期経営計画の位置づけと売上高イメージ

フェーズ

1

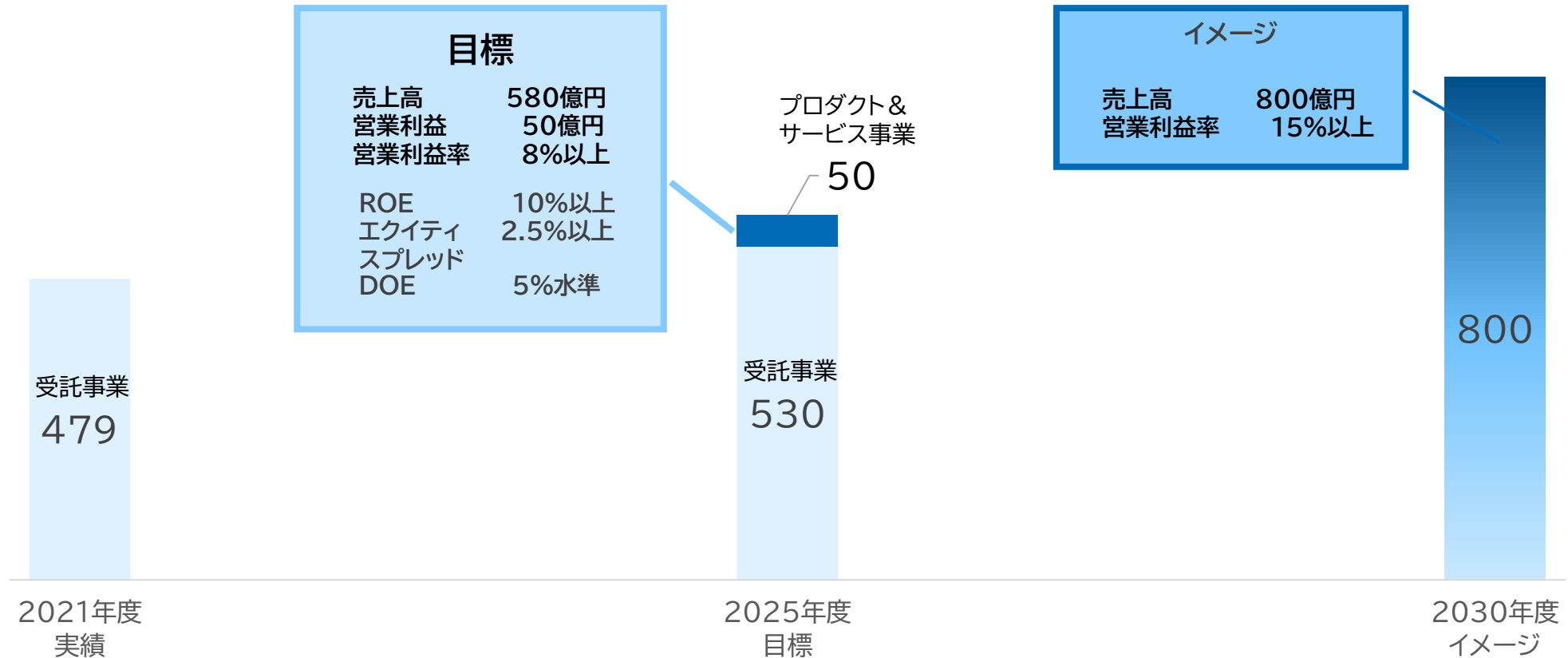
今中期経営計画(2022年度~2025年度)  
プロダクト&サービス基盤の構築

フェーズ

2

次期中期経営計画(2026年度~2030年度)  
高成長の実現

単位:億円







# 中期経営計画骨子(フェーズ1:2022年度~2025年度)

既存受託事業における安定した収益の獲得及び  
フェーズ2に向け継続的に新規プロダクト&サービスを生み出す仕組みの構築期間



## 成長戦略

### 【新規事業:プロダクト&サービス】

- ・新規事業を継続的に立ち上げる仕組み・ビジネス基盤の構築
- ・“Human Centered Technology”コンセプトによる『共創』
- ・事業投資、人材投資の推進 約150億円

### 【既存受託事業】

- ・内部資源の拡充・成長



## 高収益化戦略

- ・不採算事業の整理 約10億円の改善
- ・経営効率化



## コーポレート

- ・グループガバナンス体制や運用方法の見直し
- ・組織風土改革





# 【2023年度取組み】 成長投資実行状況

- 2022年度から2023年度まで、約25億円を消化。現時点では、すべて保有資産内で実行
- 自社の施策(人材採用や事業開発など)については、概ね計画通り実施



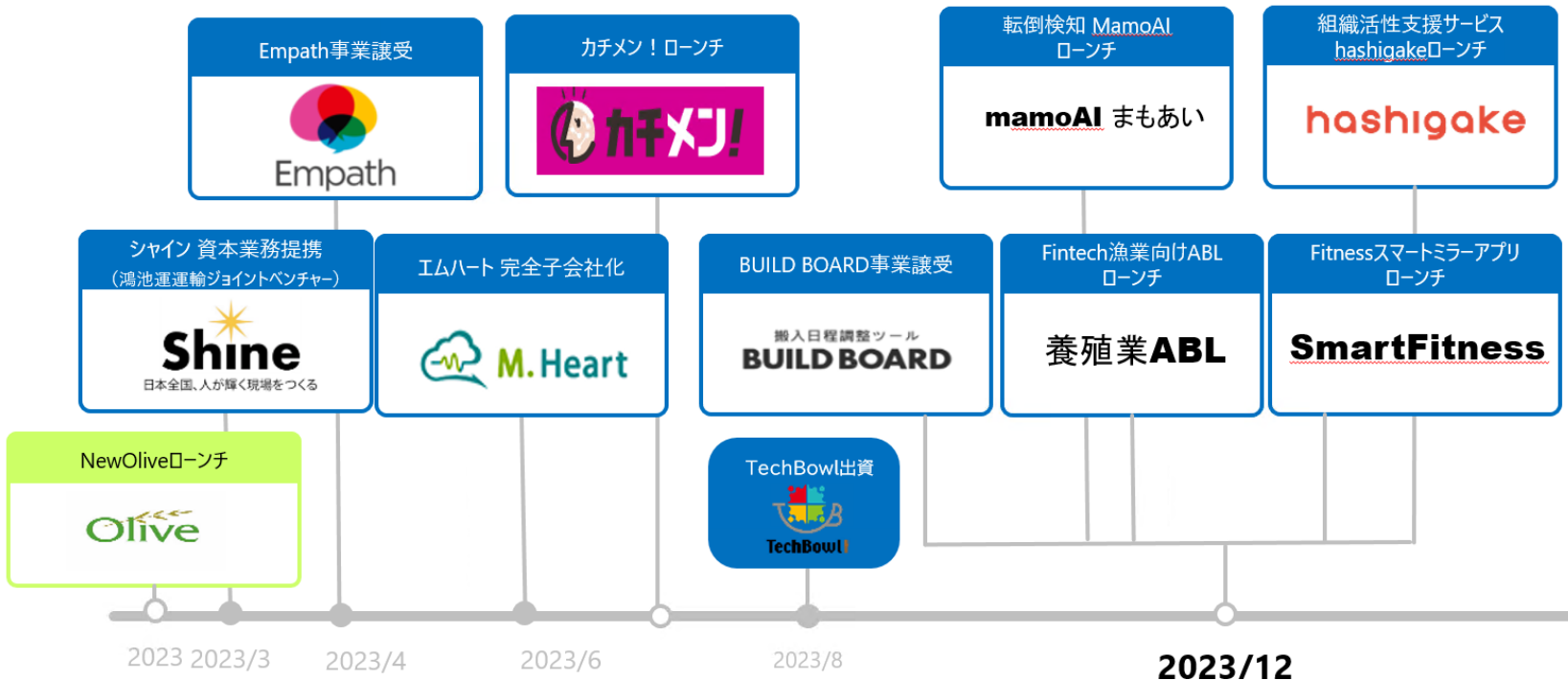


# 【2023年度取組み】

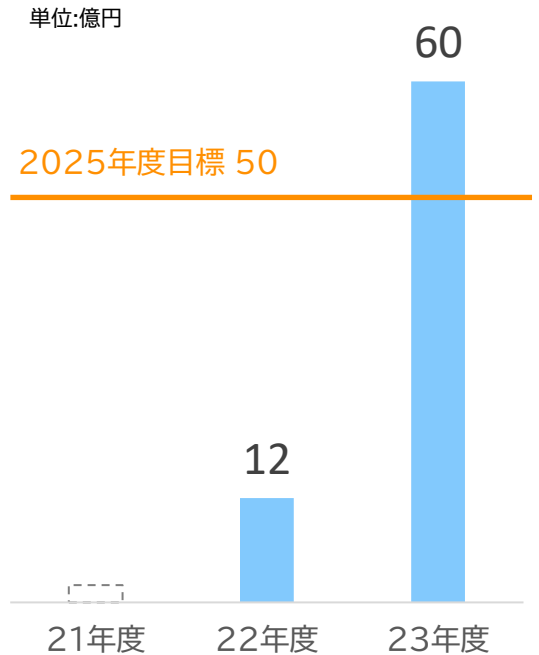
## 成長戦略:プロダクト&サービス事業推進、前倒しで2025年度売上目標50億円を達成

- 2023年度は新規サービスローンチ6件、M&A2件、出資1件、事業提携1件
- 既存事業から新規事業への転換も順調に進捗

P&S事業の2023年度取組み



P&S事業の売上高推移





# 【2023年度取組み】 成長戦略:既存受託事業は人材強化実施

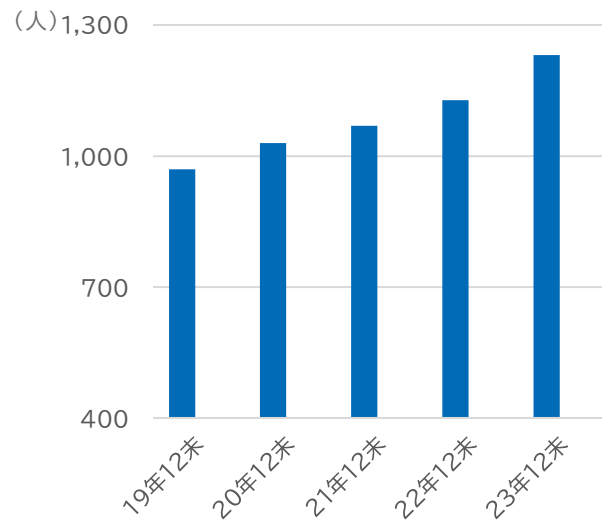
## ■ 人材採用の強化

- 採用強化によって規模の拡大や新たな技術力の獲得を狙う
- 国内IT中核子会社人員は2023年12月末時点で前年12月末比9.1%増加
- 国内IT子会社の離職率も5.3%と業界平均を下回る

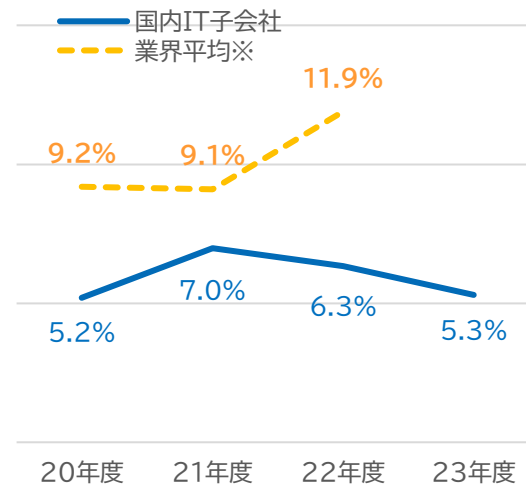
## ■ 人材育成推進

- 次世代リーダー育成プログラムや女性活躍推進プログラムなど実施
- 中核子会社にて、人事制度改定 24年4月より運用予定
- サステナビリティのKPI指標の管理、D&Iの推進

中核子会社の人員数の状況



国内IT子会社の離職率の推移



※出典:厚生労働省 雇用統計調査 常用労働者の移動状況(率)産業別



次世代リーダーの育成を目的とした  
CAC NEXT ACADEMY2023の様子



「イノベーションチャレンジ2023」で  
CACチームが優勝



## 【2023年度取組み】

高収益化: おおむね想定通りに進捗

### 海外子会社の再編

---



- 海外不採算拠点の整理  
2024年度以降2億円の利益改善  
予定
- 中国関連事業を再編  
2024年1月新会社設立

### 経営効率化

---



- 本社オフィス面積の縮小により、  
2024年度以降は年間5億円を削減
- そのほか、不要な固定費を削減



3

# 中期経営計画におけるKPIの変更と 2024年度の業績予想、施策



# KPI変更の背景

## キャッシュ創出に注力

- 2030年度にP&S事業をCACグループの柱の一つにするために、次期中期経営計画期間においても断続的に大胆な投資を行えるよう体力づくりをする
- 2025年度までに年間で最低50億円のキャッシュを事業から創出し、フェーズ2の投資へまわせる状態とする

## KPIを変更・調整後EBITDAの選定

事業から創出するキャッシュの実力を示す「調整後EBITDA」をKPIとして採択、「営業利益・営業利益率」と置換



※調整後EBITDA: 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費 + 株式報酬費用





# 2025年度までの業績推移(実績・予想・目標)

- 新規事業(P&S事業)の収益化の遅延や社員エンゲージメント策への投資など、計画策定時には想定外のコストが発生しているものの、CAC Vision 2030に必須のため取組みを継続する

(単位:百万円)		2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 予想	【変更前】 2025年度 目標	2025年度 目標
売上高		47,935	47,971	50,539	51,500	58,000	58,000
調整後EBITDA※		4,482	4,029	4,143	4,500	—	5,500
	(対売上比)	9.4%	8.4%	8.2%	8.7%		9.5%
参考値 <small>将来の予測が困難なため参考値となります</small>	減価償却	614	580	555	600	—	600~700
	のれん償却	96	196	146	150	—	200~800
	株式報酬等	75	65	114	250	—	400~700
	営業利益 (対売上比)	3,697 7.7%	3,187 6.6%	3,327 6.6%	3,500 6.8%	5,000 8%以上	3,600~4,300 6.2%~7.4%
	当期利益 (対売上比)	2,476 5.2%	2,093 4.4%	2,473 4.9%	2,500 4.9%	—	3,000~3,400 5.2%~5.9%

※調整後EBITDA: 営業利益+減価償却費+のれん償却費+株式報酬費用





# 2024年度業績予想

- 2024年度は引き続き成長基盤醸成のための投資を行うものの、堅調な推移を見込むため、前年度比では増収増益を予想(M&A影響は織り込まず)
- 配当は、DOE5%水準の80円を予想

	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 予想	前年度比
売上高	47,935	47,971	50,539	51,500	+1.9%
調整後 EBITDA※	4,482	4,029	4,143	4,500	+8.6%
(対売上高)	9.4%	8.4%	8.2%	8.7%	+0.5pt
ROE	8.8%	7.1%	8.2%	8.3%	+0.1pt
エクイティ スプレッド	1.9%	▲0.6%	1.2%	1.3%	+0.1pt
年間配当	60円	60円	80円	80円	0円
DOE	3.6%	3.4%	4.6%	4.7%	+0.1pt

※調整後EBITDA:営業利益+減価償却費+のれん償却費+株式報酬費用





# 2024年度業績予想 セグメント別売上高・利益

## 売上高

(単位:百万円)	2023年度		2024年度予想		前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
国内IT	35,905	71.0%	36,500	70.9%	+595	+1.7%
海外IT	14,633	29.0%	15,000	29.1%	+367	+2.5%
合計	50,539	100.0%	51,500	100.0%	+464	+1.9%

## 調整後EBITDA

(単位:百万円)	2023年度		2024年度予想		前年度比	
	金額	利益率	金額	利益率	金額	増減率
国内IT	3,720	10.3%	3,800	10.4%	+80	+2.2%
海外IT	1,728	11.8%	2,000	13.3%	+272	+15.7%
調整	▲1,306	—	▲1,300	—	+8	—
合計	4,143	8.2%	4,500	8.7%	+357	+8.6%

※調整後EBITDA:営業利益+減価償却費+のれん償却費+株式報酬費用



# 2024年度の経営方針

- 投資を積極的に継続実施すると同時に既存事業の収益力向上を狙い、「体力づくり」と「仕組みづくり」を重点施策として取り組む
- 次期中期経営計画(2026年度～2030年度)の準備を並行する

2024年重点施策	体力づくり	<ul style="list-style-type: none"><li>● 既存事業の収益向上 国内IT事業にて、収益構造改善の継続や人的リソースの早期収益化より受託事業の拡大を図る 海外事業会社の体制立て直しによる利益向上を狙う</li><li>● 新規事業のグロース注力 新規事業のローンチを継続しつつ、ターゲット層の反応がよいプロダクト・サービスを特定 強みのある技術・製品については、事業拡大を推進</li><li>● コーポレート機能の高度化 大型の事業投資を複数実現することを見込み、モニタリングおよびリスク管理を強化</li></ul>
	仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"><li>● 新規事業拡大に向けた2026年度以降の体制検討・組成</li><li>● グループガバナンス整理・強化</li></ul>
次期中計準備	グループ体制の検討、海外新規事業の検討など	





4

# 参考データ



# 業種別受注高

(単位:百万円)	2022年度		2023年度		前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	%
金融	15,262	30.8%	<b>19,928</b>	<b>36.5%</b>	+4,665	+30.6%
製薬	8,777	17.7%	<b>8,719</b>	<b>16.0%</b>	▲57	▲0.7%
製造	8,294	16.8%	<b>7,694</b>	<b>14.1%</b>	▲600	▲7.2%
情報・通信	6,881	13.9%	<b>7,998</b>	<b>14.6%</b>	+1,117	+16.2%
サービス業など	10,296	20.8%	<b>10,309</b>	<b>18.8%</b>	+12	+0.1%
合計	49,512	100.0%	<b>54,650</b>	<b>100.0%</b>	+5,137	+10.4%



# 業種別売上高

(単位:百万円)	2022年度		2023年度		前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	%
金融	15,033	31.3%	<b>18,382</b>	<b>36.4%</b>	+3,349	+22.3%
製薬	8,135	17.0%	<b>8,449</b>	<b>16.7%</b>	+314	+3.9%
製造	7,693	16.0%	<b>7,027</b>	<b>13.9%</b>	▲665	▲8.7%
情報・通信	7,528	15.7%	<b>7,130</b>	<b>14.1%</b>	▲398	▲5.3%
サービス業など	9,580	20.0%	<b>9,549</b>	<b>18.9%</b>	▲31	▲0.3%
合計	47,971	100.0%	<b>50,539</b>	<b>100.0%</b>	+2,567	+5.4%





# セグメント別業種別受注高

	2022年度		2023年度		前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	%
(単位:百万円)						
<b>国内IT</b>	37,540	75.8%	<b>37,532</b>	<b>68.7%</b>	▲8	▲0.0%
金融	11,462	23.2%	<b>12,035</b>	<b>22.0%</b>	+573	+5.0%
製薬	8,044	16.2%	<b>8,061</b>	<b>14.8%</b>	+16	+0.2%
製造	6,952	14.0%	<b>6,158</b>	<b>11.3%</b>	▲794	▲11.4%
情報・通信	3,423	6.9%	<b>3,268</b>	<b>6.0%</b>	▲155	▲4.5%
サービス業など	7,657	15.5%	<b>8,008</b>	<b>14.6%</b>	+350	+4.6%
<b>海外IT</b>	11,971	24.2%	<b>17,117</b>	<b>31.3%</b>	+5,146	+43.0%
金融	3,800	7.7%	<b>7,892</b>	<b>14.4%</b>	+4,091	+107.7%
製薬	732	1.5%	<b>658</b>	<b>1.2%</b>	▲74	▲10.2%
製造	1,341	2.7%	<b>1,535</b>	<b>2.8%</b>	+194	+14.5%
情報・通信	3,457	7.0%	<b>4,730</b>	<b>8.7%</b>	+1,272	+36.8%
サービス業など	2,639	5.3%	<b>2,300</b>	<b>4.2%</b>	▲338	▲12.8%
<b>合計</b>	49,512	100.0%	<b>54,650</b>	<b>100.0%</b>	+5,137	+10.4%



# セグメント別業種別売上高

	2022年度		2023年度		前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	%
(単位:百万円)						
<b>国内IT</b>	36,406	75.9%	<b>35,905</b>	<b>71.0%</b>	▲501	▲1.4%
金融	11,269	23.5%	<b>11,496</b>	<b>22.7%</b>	+227	+2.0%
製薬	7,468	15.6%	<b>7,787</b>	<b>15.4%</b>	+319	+4.3%
製造	6,385	13.3%	<b>5,516</b>	<b>10.9%</b>	▲869	▲13.6%
情報・通信	3,618	7.5%	<b>3,223</b>	<b>6.4%</b>	▲395	▲10.9%
サービス業など	7,663	16.0%	<b>7,880</b>	<b>15.6%</b>	+216	+2.8%
<b>海外IT</b>	11,565	24.1%	<b>14,633</b>	<b>29.0%</b>	+3,068	+26.5%
金融	3,764	7.8%	<b>6,886</b>	<b>13.6%</b>	+3,122	+82.9%
製薬	667	1.4%	<b>661</b>	<b>1.3%</b>	▲5	▲0.8%
製造	1,307	2.7%	<b>1,511</b>	<b>3.1%</b>	+203	+15.6%
情報・通信	3,909	8.2%	<b>3,906</b>	<b>7.7%</b>	▲3	▲0.1%
サービス業など	1,917	4.0%	<b>1,668</b>	<b>3.3%</b>	▲248	▲13.0%
<b>合計</b>	47,971	100.0%	<b>50,539</b>	<b>100.0%</b>	+2,567	+5.4%







# サステナビリティ経営に関するKPIおよび実績

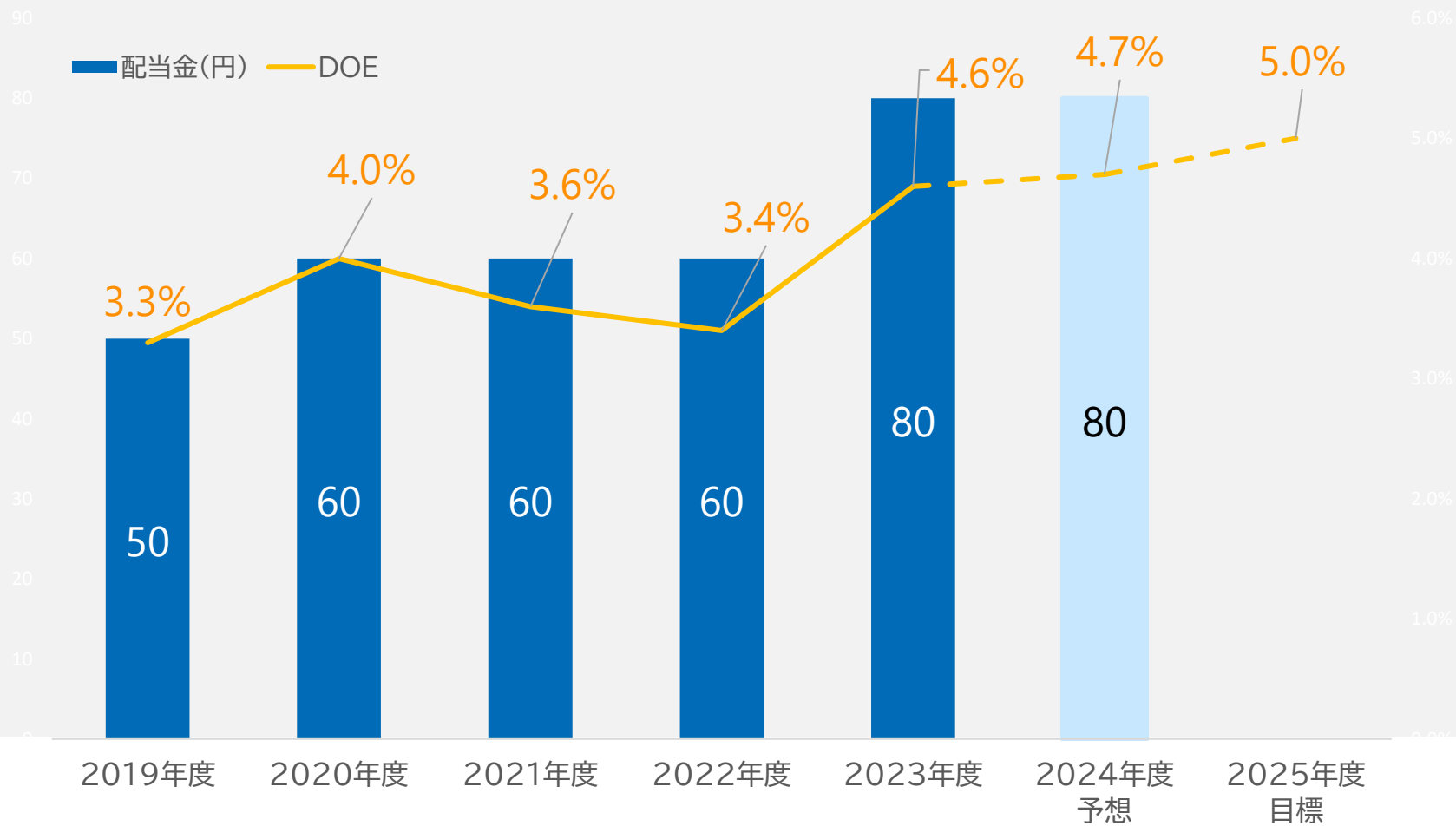
持続的成長に向けた重要課題	ゴール	KPI	2022年実績	2023年実績	2030年の目標
社員にとって働き甲斐のある「選ばれる」職場環境 (対象:国内会社)	全般	社員エンゲージメント調査におけるエンゲージメントスコア	68.6pt (持株会社と中核子会社のみ)	69.2pt	全業種の上位20%以内 (78pt)
	①健康的で安全な職場の提供	①健康診断受診率	87.0%	91.3%	100%達成
		②ストレスチェック実施率	92.6%	95.0%	100%達成
		③年次有給休暇取得率	53.1%	64.3%	80%達成
		④平均月間法定外労働時間	15.2時間	12.4時間	10時間以下
	②個々の社員の価値観が尊重されるダイバーシティ&インクルージョンの実現	①女性役員比率 ※取締役・執行役員・監査役	6.7%	10.5%	30%達成
		②女性役職者比率 ※管理職+その他の管理職	14.2%	15.0%	30%達成
		③男性社員の育児休業取得率	73.3%	47.1%	100%達成
		④日本国内における日本国籍以外の社員比率	4.1%	4.0%	5%達成
	③人材育成:仕組みの構築と実行	「挑戦」機会を実感した社員の割合	—	— (24年より運用開始)	80%達成
社会からの信頼性を得るためのコンプライアンス・リスクマネジメント・ガバナンス	①法令・社会規範の順守	コンプライアンス研修実施率	94.2% (インド除く)	98.6% (インド除く)	100%達成





# 配当、DOE推移

- 現中期経営計画の2025年度まではDOE5%水準を継続予定





5

# 2023年度下期 主要ニュース

2023  
7/12

## CAC、音声感情解析AI「Empath」を活用したクラウド型対話データ解析サービス「Beluga Box SaaS」を販売開始

～ 1分あたり0.2円の低価格従量制で感情解析AIによる対話データの解析が可能 ～

CACは、音声感情解析AI「Empath」を搭載し、音声対話の感情、話し方、満足度等をクラウドで解析する「Beluga Box SaaS」の提供を2023年7月11日から開始。本サービスでは、1分あたり0.2円という低価格でサービス提供する。ニューラルネットワークを利用したモデルの代わりに、過去10年にわたり集めてきた実環境上の音声データをもとに機械学習を繰り返して構築に成功した軽量なモデルを利用しているため、安価に精度のよいモデルをクラウドサービスとして提供することが可能となった。

2023  
7/14

## CACと滋賀大学がデータサイエンス分野での連携・協力に関する協定を締結

～ 共同研究や人材育成などの取り組みを促進 ～

CACは、国立大学法人滋賀大学との間で、連携・協力に関する協定を2023年7月12日付で締結し、調印式を実施した。今後は、CACのデータサイエンス関連新サービス開発への滋賀大学による支援、CACが保有する感情認識AIなどデータ採取・分析ツールの滋賀大学PBL（問題解決型学習）への提供など、具体的な連携・協力を進めていく。

2023  
7/20

## 本社1階ボッチャコートにて「第2回バイオジェンカップオンラインボッチャ全国大会」決勝開催！

バイオジェン・ジャパン株式会社と一般社団法人オンラインボッチャ協会、株式会社オリイ研究所、CAC Holdingsは、重度身体障害を抱える子供でも参加することのできるスポーツ「オンラインボッチャ」の「第2回 バイオジェンカップ オンラインボッチャ全国大会」を、2023年9月23日(土・祝)に開催した。予選リーグと決勝トーナメント会場は、CAC Holdings提供のCACボッチャコート(東京都中央区箱崎)にて開催された。



# 2023年度下期主要ニュース(2/4)

2023  
7/26

## 遠隔コンサルテーション・カンファレンス(DtoDtoP)による遠隔医療の推進に向け、「医師間オンラインコンサルテーションシステム」実証実験の第2弾を開始 ～ CAC、千葉大学病院およびメディエイドが共同で ～

CACは、千葉大学医学部附属病院および株式会社メディエイドと共同で、地域医療機関の医師が大学病院等の医師に症例等の相談ができる「医師間オンラインコンサルテーションシステム」のPoC(Proof of Concept:実証実験)の第2弾を開始した。今回のPoC第2弾では、システムを再構築し、参画する病院や医師も増やす。これにより、前回より広い環境で本システムの有意性を実証するとともに、規模や地域での役割など病院の特性による有意性の差異を確認し、新システムの利便性も評価する。

2023  
8/28

## 当社子会社(株式会社シーエーシー)による、株式会社 TechBowl への出資について

CACは、エンジニアリング学習コミュニティ「TechTrain」を運営する株式会社 TechBowlへの出資を発表した。TechBowlは、エンジニアの教育・紹介事業を展開しており、今回の出資により CACでは同社のサービスを自社の人材採用や人材育成に活用していく。

2023  
9/29

## 海外孫会社の解散

CAC Holdingsの連結子会社であるInspirisys Solutions Limited(以下ISL)は、ISLの完全子会社であるInspirisys Solutions DMCCについて任意解散および清算を開始することを2023年9月28日(インド時間)に決定。





# 2023年度下期主要ニュース(3/4)

2023  
10/10

## CAC、音声感情解析AI「Empath」を活用した3Dゲームの表情生成支援サービス「DeepEmo」を提供開始 ～ 表情アニメーターの工数の95%削減に寄与した技術をベースに ～

CACは、音声感情解析AI「Empath」を搭載し、3Dゲームのキャラクターの表情生成を支援するサービス「DeepEmo」の提供を2023年10月10日。DeepEmoは3Dキャラクターの感情を台詞音声から解析する技術で、株式会社スクウェア・エニックスが2023年1月24日に発売した『FORSPOKEN(フォースポークン)』の開発に利用された。事前収録された台詞音声から感情値を時系列データで出力し、3Dアニメーションソフトに読み込ませてキャラクターの表情の自動生成を行った結果、約95%の制作時間を削減することができた。

2023  
10/18

## CAC、表情と音声の感情分析AIを活用して就活の面接対策ができるアプリ「カチメン！」を10月下旬から提供開始 ～ ひとりで手軽に、効果的な面接練習を可能に ～

CACは、表情感情分析AIと音声感情解析AIを活用し、就活(就職活動)などの面接の練習や改善ができる新・面接対策専用アプリ「カチメン！」を開発し、2023年10月下旬から提供を開始した。本アプリにより、就活生や転職希望者など面接を控えているユーザーは、スマホで手軽に面接練習や選考動画分析ができる。表情感情分析AI「Affdex」と音声感情解析AI「Empath」が面接練習時の感情(表情や印象)、話し方、台本類似度などを高精度に解析し、客観的に改善点をフィードバックする。

2023  
10/20

## 第7回 CACカップ 学生ボッチャ交流戦を開催

2023年10月7日にCACグループはBumB東京スポーツ文化館において「第7回 CACカップ 学生ボッチャ交流戦」を開催。CACカップはCACグループが社会貢献活動として障害者スポーツ「ボッチャ」の普及・支援する活動の1つで、都内の特別支援学校の生徒を招き開催しているボッチャ大会。大会当日は、過去大会を上回る14校22チームによる熱戦が繰り広げられた。





# 2023年度下期主要ニュース(4/4)

2023  
12/6

## CACグループ、8年連続「東京都スポーツ推進企業」に認定

CAC Holdingsは、東京都生活文化スポーツ局が実施している「東京都スポーツ推進企業認定制度」において、「令和5年度東京都スポーツ推進企業」の認定を受けた。「東京都スポーツ推進企業認定制度」とは、社員のスポーツ活動を促進する取り組みや、スポーツ分野における支援を実施している企業等を認定しているもの。2015年から開始され、今年度は483社が認定された。CACグループは、2016年より取り組んでいる障害者スポーツ「ボッチャ」の普及・支援の活動が評価され、8年連続で認定されている。

2023  
12/18

## CAC、画像認識AIを活用した介護施設と医療機関向け見守りシステム「まもあい」のMVP版を提供開始 ～ 介護・看護×AIのチームで、安心安全な介護医療現場の実現を支援 ～

CACは、画像認識AIを活用して、介護施設と医療機関における転倒・転落と離床の予防と再発防止を支援する見守りシステム「まもあい」を開発し、本日からMVP(Minimum Viable Product:実用最小限の製品)版を提供開始した。介護や医療の現場での課題をITや介護ロボットで解決していく必要性が厚生労働省からも示されている。こうした課題に対応するために、CACはカメラで撮影した画像から人の各種部位(キーポイント)の位置情報を取得して姿勢の推定を行い、施設などにおける高齢者や患者の転倒・転落や離床に関わる姿勢を検知するAI(姿勢推定AI)を開発した。

2023  
12/26

## CAC、画像認識AIの活用により養殖魚の体重を推定・データ化して資産価値を算定するシステムのMVP版を提供開始～ 養殖業の効率化と資金調達の円滑化に貢献 ～

CACは、画像認識AIを活用して養殖魚に触れることなく体重を推定・データ化して資産価値を算定するシステム「魚体鑑定システム(仮称)」を開発し、MVP(Minimum Viable Product:実用最小限の製品)版の提供を開始。CACは長崎県で取り組まれている産学官連携のプロジェクト「ながさきBLUEエコノミー」に参画し、デジタル化された養殖場での養殖魚の資産価値算定と算定価値を担保にした金融機関等からの資金調達の仕組み作りに取り組んでいる。

## お問合せ先

経営企画部 コーポレート・コミュニケーショングループ  
TEL:03-6667-8070 E-mail:prir@cac.co.jp  
<https://www.cac-holdings.com/>